

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6年 5月 9日 更新

事務事業名		合志市エコまつり運営事務事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4 生活環境の健康				所属部	市民生活部	課長名	合志 義浩
	施策	21 廃棄物の抑制とリサイクルの推進				所属課	環境衛生課	担当者名	鍋島 一紗
	施策の柱	62 ごみの発生抑制とリサイクルの推進				所属班	環境衛生班	(内線)	1142
予算科目		会計一般	款 4	項 2	目 1	事業連番 11486	根拠法令	合志市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	
終了、開始年度		☒ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	市民がライフスタイルの見直しを考え、地球温暖化防止、ごみ減量やリサイクルの推進を図り、循環型社会の実現を目指す目的で、平成15年度から菊池環境保全組合の構成団体（合志市、菊池市、大津町、菊陽町、環境保全組合）で開催してきたが、平成21年度より各自治体単位で開催することとなった。 参加者に、環境保全・地球温暖化防止・リサイクルの推進・ごみ減量化に向けた取り組みを周知していく。 平成24年度からは環境団体や市内企業などで組織する実行協議会を設置し、市民と協働によりイベント作りを行っており、平成26年度より効果的に集客するため、市民まつり等と同時開催するようにしている。 令和6年度より「10180地球温暖化防止啓発事業(統合親・名称変更)」「11486合志市エコまつり運営事務事業」を「10180地球温暖化等対策事業」に統合
【業務の流れ】	合志市エコまつりの計画・運営（会場等の手配、協力団体との出展内容打合せ、広報・周知、会場設営及び撤収、設営委託契約事務、エコまつり開催、支払い事務、実施報告）
【主な予算費目】	職員手当、需用費、役務費（切手代）、委託料
【意見や要望】	参加者から、エコまつりを楽しみにしている、毎回参加しているといった意見がある。また、毎年継続して実施して欲しいとの意見がある。他の行事と共催することで参加者を増やせるとの意見がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) 6月に第1回実行協議会を開催し、8月に第2回実行協議会を開催した。令和5年11月5日開催の市民まつりと同時開催し、13団体が参加した。		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 来年度も合志市市民まつりと同時開催を予定しており、開催に向けた実行協議会を開催する予定である。 令和6年度より「10180地球温暖化防止啓発事業(統合親・名称変更)」「11486合志市エコまつり運営事務事業」を「10180地球温暖化等対策事業」に統合予定である。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ア エコまつり運営業務の執行時間	時間	10180地球温暖化防止啓発事業と11486合志市エコまつり運営事務事業を10180地球温暖化等対策事業へ統合することに伴う減
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民		→ア 人口
		→イ
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)
ごみ減量化を図る。		→ア エコまつり(市民祭り)参加者数
		→イ
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
エコまつりは多くの市民に参加してもらい、環境保全・地球温暖化防止・リサイクルの推進・ごみ減量化を図ることが目的であり、成果指標を「エコまつり参加者数」とした。目標値の参加者数については、「1,000人」と設定した。		全体計画 ~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移										
		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標		ア 時間	0	180	350	340				
② 対象指標		ア 人	63,841	64,453	65,500	64,787				
③ 成果指標		ア 人	0	12,000	1,000	11,000				
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	7	812	1,335	824			
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	7	812	1,335	824			
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0			
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0			
	人件 費	正規職員従事人数	人	3	5	7	7			
		延べ業務時間	時間	90	180	350	340			
		(B)人件費計	千円	351	685	1,394	1,238			
	トータルコスト(A)+(B)		千円	358	1,497	2,729	2,062			

事務事業名	合志市エコまつり運営事務事業	所属部	市民生活部	所属課	環境衛生課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は5年度の後評価、ただし複数年度事業は5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	② 6年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 次年度も他のイベントと同時開催することで目標を達成できると見込まれる。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 市内の環境団体や事業所等の他のイベントとの連携により、成果向上の余地有り
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 令和6年度より「10180地球温暖化防止啓発事業（統合親・名称変更）」「11486合志市エコまつり運営事務事業」を「10180地球温暖化等対策事業」に統合
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 環境団体や事業所には無償で協力いただいている。 集客を図り、環境問題に関し、市民の理解と認識を得るには、事業費の削減は困難であるが、他のイベントと同時開催することで委託料の削減を図っている。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 会場設営などは委託する。 エコまつり実行協議会を組織し開催するが、主管課として事業の説明や、周知に関する事務事業、開催準備、開催当日の案内等、課員全員の対応が必要であり削減の余地はない
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 市民が対象であるので適正である
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 団体が協力できる分は、お願いしている。 環境問題は多岐にわたるので、行政が主導で行うべき事務と事業所や市民団体ができるものは区別して実施している。

3 評価結果の総括（CHECK）

民間企業やボランティア団体などのごみ減量、地下水保全、地球温暖化対策の啓発を行った。次年度もエコまつりについて啓発を行っていく。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☒事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 令和6年度より「10180地球温暖化防止啓発事業（統合親・名称変更）」「11486合志市エコまつり運営事務事業」を「10180地球温暖化等対策事業」に統合				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持																											
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												